

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。	
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)	
留学先大学名	ストックホルム大学 (国名: スウェーデン)		
留学先学部名(またはプログラム名)	Department of Cinema Studies		
留学期間	2011 年 8 月 ~ 2012 年 1 月		
学部/学府・年次	比較社会文化	学部/学府	博士後期課程1年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="checkbox"/> (期間:)		
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)		
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	特になし		
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) <input checked="" type="checkbox"/> 3. その他(具体的に:休学)		
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)			
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	特になし		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	特になし		
1. 留学先大学について			
授業(カリキュラム等)の概要について	北欧諸国における映画及びテレビ文化の歴史, 理論, 批評について, 特にスウェーデンに焦点を当てながら national cinema について映像視聴と並行して講義が行われる。一回の授業4時間を週2回。各回, 授業テーマに合わせた研究者が入れ替わりで講義する。毎回の授業の必須テキストの熟読, 毎週小レポートの提出, 中間レポートの提出, 他学生のレポートの批評論文提出, 最終レポートの提出が義務。		

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>交換留学生の細かい支援は学生組合(入会費を払い加入する)が主導する。 語学面: 事前に学生組合に申請すれば, ボランティアの手助けを受けられる場合がある。 勉学面: 同上 精神面: 大学の保健センターがある。 住居・生活面: 大学に斡旋された住居に住む。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>(1) 渡航前手続きの段階からストックホルム大学の留学生課とは E メールを通じて連絡を取り合う。しかし, 先方からの一方的なメール配信が前提であり, 交換留学生個人々人からの質問には業務多忙なため一切受け付けないという対応だった。また, 所属する学府の事務担当者との E メール連絡の際も, 返事をもらえないことが多かった。そのため, 渡航前後に具体的な問い合わせをしたい時に何も手立てがなく, 渡航直前まで大変不安であった。交換留学生は, 渡航前はもちろん, 渡航後もすぐに電話を使える状況にあるわけではないので, 受け入れ先大学には Eメールでの連絡をより重視してほしいと思った。</p> <p>(2) スtockホルム大学から斡旋された住宅の環境が劣悪だったのが残念である。交換留学生は住宅の場所, 施設, 家賃などに対し何も決定権がないため, 過酷な住宅環境を自分一人で改善することもできず, ただ我慢するしかなく非常に辛い思いをした。特に, スウェーデンは北欧で寒い国なので, 留学生が暖かい部屋で暮らせるような暖房設備は完備しておいてもらいたかった。留学生個人が暖房器具や防寒(着)具を買い揃えなければ, 部屋の中は凍えるような寒さだった。留学生は短期間しか滞在しないので, そのような家電製品の出費をしなければ暮らせない住宅というのは改善してもらいたい。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>(1) 福岡と比べ気温の変動が激しいので、身体的、精神的に病気にならないように気をつけてください。日用品はストックホルムでも購入できます。ですが、物価が高い上に、商品の種類も非常に少なく、日本のように安いドラッグストアがないので、薬など必需品は事前に日本で用意した方が経済的です。</p> <p>(2) スtockホルムは慢性的な住宅不足です。留学生個人が住居を見つけるのは不可能に近いです。そのため、交換留学生はストックホルム大学から斡旋された住居に住む以外に方法がありませんが、住む場所や環境など自分の希望が考慮されることはありません。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>入国ビザは不要</p>
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>入国ビザの代わりに、日本人は居住許可カード申請を行う必要がある。渡航前から、スウェーデンの移民局のウェブサイトにて電子申請を行う。申請方法などは、在日スウェーデン大使館のウェブサイトに詳しく説明されている。必要書類の準備、特に海外留学保険証書(英文)発行、預貯金証明書(英文)発行などには時間を要するので早く用意した方がいい。</p>

3. 日常生活

日常生活の概要、感想	授業がある場合は大学で受け、それ以外は自分の部屋で過ごしました。ストックホルムは日本のように安い外食産業が発達していないので、金銭的に制限のある留学生が頻りにレストランや喫茶店で外食をすることは簡単ではありませんでした。また、福岡の気候に比べ、留学した8月から1月まで気温が低く、日照時間も短いのでずっと寒く感じられ、長時間外出することは体力的に困難でした。冬場は3～4時間外出するのが身体の限界でした。そのために、部屋の中で時間を過ごすことが日常生活の中心でした。にもかかわらず、残念ながら大学から斡旋された住環境が福岡よりひどく劣っていたために、身体的に疲労感やストレスがとれることが全くありませんでした。部屋は狭く、隣の部屋の住人の音が夜遅くに聞こえてくることもあり勉強に集中できない時がありました。共有台所も清掃スタッフが雇用されておらず、非常に不衛生でした。部屋のインターネット環境も万全とは言えず、つながりが悪いときがよくありました。日本の家族とインターネットのスカイプを通じて会話をするのが楽しみでしたが、インターネットの接続が悪く、頻りに画像や音声途切れることがあり、そのことが終始大変なストレスとなりました。セントラルヒーティングがほとんど効かず、わずかな熱が窓からの冷気に吸い取られてしまい部屋が暖まることはありませんでした。常に寒く、乾燥しているため、あかぎれや湿疹、かかとのひび割れに悩まされました。トイレとシャワーも老朽化してサビがしていました。便器は汚れており、トイレの水圧が低い流れにくいことや、逆流することさえありました。また、トイレの場所(床のタイル)とシャワーの場所(タイル)が区別されておらず、むき出しのタイルの上でシャワーを浴びなければなりません。毎日トイレでシャワーを浴びている気持ちがしてものすごく不快で不潔に感じられました。このような日常生活のために、心理的にまるで囚人のような暮らしを強いられるようでとても惨めな気持ちでした。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 132000～142000 円/月 (生活費内訳) 住居費: 45000円(光熱水料・インターネット代含)、 通学費: 7000円 食費: 30000～40000円、 電話代: 10000円、 書籍代: 40000円 その他: (具体的に) 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	ラップトップコンピュータ、コンタクトレンズ、目薬、生理用品、調理器具(サランラップ、さいばし、包丁)、部屋履きのスリッパ、常備薬、暖かい肌着、
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	ストックホルムの地元住民は福岡の人々よりも質素な身なりのことがほとんどです。公衆衛生も福岡のように良くありません。そのため、おしゃれ着は不要です。むしろ、ハイテクな防寒着や汚れてもいい服が重宝します。ただし、コートやブーツは日本で売られる物ではストックホルムでは歯がたたないので、現地で購入することをお勧めします。

<p>お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>(1) 現金とクレジットカードの併用が便利。特に、日本の銀行のキャッシュカードで、海外のATMで利用可能で、現地通貨で引き出しができる機能のものがお勧め。 (2) スtockホルムで外国人留学生が口座開設できる銀行は限られている。該当する金融機関については、留学生課から情報入手できる。 (3) 日本からスウェーデンへの国際送金は、スウェーデンクローナの取り扱いがある金融機関でのみ受け付けられる。</p>
---	--

4. 住居、生活環境

<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>・寮 ・ホームステイ ・<input checked="" type="checkbox"/>民間アパート ・その他()</p>
<p>住所／電話番号</p>	<p>1725 Armegatan 32, Solna, 17171 Sweden</p>
<p>費用(月額)</p>	<p>45000 円</p>
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>大学からの斡旋</p>
<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>住宅環境を日本水準に求めることはできません。しかし、他に選択肢がないので、可能であれば自費で様々な投資をするなどして工夫しながら暮らしてください。</p>
<p>留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>ストックホルム市は規模としては福岡市とほとんど変わりありません。ですが、福岡での生活の違いも多くあります。例えば、エスカレーターやエレベーターが毎日故障して動きません。地下鉄の運行時間が遅れます。地下鉄やバスの運転が非常に荒いです。さらに、歩きタバコ、路上喫煙、ゴミがいたるところに落ちているなど公衆衛生が福岡よりも悪いので、驚くと思います。また、住民の労働時間が日本と異なり、商店などの営業時間、大学窓口の開いている時間が短いので、慣れるまでに時間を要します。</p>

5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント

6. その他の特記事項